

## 令和6年8月柏の集い案内

### 宣言

天風会の目的は、いつも愛と誠の心を持って生き、お互いに思いやりの気持ちで助け合う兄弟姉妹の数を殖やし、それによって世界の真の平和を確立することである  
天風会

皆さま、猛暑の中にも澆漑とお過ごしのこと、お慶び申し上げます。

「暑いなあ、暑いから、ますます元気が出るなあ」と天風先生は、その暑さの中でこそその「心身の鍛錬だ」と夏期修練会を行われるのです。

話を変えて、新紙幣肖像画に登場する人物を、メルマガ「国際人養成講座」から拾いました。

一万円札の渋沢栄一、五千札の津田梅子、千円札の北里柴三郎、新紙幣に登場した3人は国家のために、社会事業、女子教育、医療とそれぞれの分野で偉大な業績をあげたのですが、いずれもその背後から皇室の後押しがあったことが共通点と言われます。

### 渋沢栄一の志

明治37(1904)年、64歳の渋沢は肺炎で高熱を発し、流動食を飲み込む日々が続いていた。致死率の高い肺壞疽(はいえそ)が進行している事も判明。死を覚悟した栄一は、遺言を残し、栄一危篤の報に、見舞の客が訪れます。

明治天皇から見舞いの菓子折が下賜され、栄一は瀕死の床から、感激を歌に詠みました。

伏せ屋もるうめきの声の思いきや雲の上まで聞こゆべしとは

(みすばらしい家から漏れる呻(うめ)き声が天皇にまで届いてしまうとは)

ここから栄一は急に快方に向かい、この後、20数年も公益事業などに尽力するのです。明治天皇は世のため人のために大車輪の活躍をする栄一を頼りに思われていたことを、下賜された菓子折に察した栄一は、自分にはまだまだ仕事があると改めて震い立ったでしょう。

「病は気から」と言います。明治天皇の大御心を拝して、栄一は急に元気を取り戻したのです。

### 皇后の涙

新5千円札の肖像画の津田梅子は、日本で最初の5人の女子留学生の一人です。

出発前に皇后(明治天皇のお后、昭憲皇太后)に拝謁した時に、皇后は「まあ! こな

いに年端もいかぬ子らが・・・」と小さなお声で嘆じられ、親はどれほど手離しがたいことか、娘たちは厳しい決心がいったことかと、思いやられているお心が側にいる人には痛いほどに伝わりました。

明治天皇は教育こそが日本の独立を守り、世界に伍していく国づくりの原動力という強い思いを持たれていましたが、皇后はその思し召しに沿って、女子教育確立のために華族女学校(現・学習院女子中・高等科)、女子高等師範学校(現・お茶の水女子大学)の設立を後押しされました。

### 北里柴三郎の感激

ベルリン大学のコッホの許に留学して4年目の1889(明治22)年、柴三郎はコッホ、とともに、結核の特効薬ツベルクリンの開発に取り組んでいたが、留学期限は翌年末で切れるので、1年間の留学延長願いを内務省に送ったけれど梨のつぶて。そもそも留学期間の延長はありえないのに、すでにコッホの熱心な口利きで、一度延長されていた。いくら何でも二度目の延長は無理だろうと、柴三郎はあきらめていた。

そこに明治天皇から下賜金千円が支給されて、延長が許されることになったのです。

巡査の初任給が8円の頃です。現在の貨幣価値で言えば、3千万円ほどにもなりましょう。コッホが日本公使館を尋ねて延長を懇請し、それを受けた内務省衛生局長・長与専齋がツテを辿って、宮内大臣から明治天皇に恩賜金御下賜を請願してくれたのです。

北里柴三郎は細菌学の確立者ロベルト・コッホ博士のもとで、破傷風菌の純粹培養に成功し、ケンブリッジ大学から、新設する細菌学研究所の所長として来て欲しい要請されたが、――(明治天皇から)帰国の上、日本国民の結核患者を治療せよとの恩命をいただいています。私は、現在、他事を顧みずこの研究に従事し、来年、帰国の上は、私が学び得た医学をもって我が同胞の病苦を救い、天皇の御めぐみの万分の一にも報い奉らんと志すと断った。

以上、メルマガ「国際人養成講座の、抜き書きですけれど、天風先生の「心一つの置きどころ」を髣髴(ほうふつ)といたしながらです。

8月の柏の集いは第4土曜日の27日午前9時半から、柏諏訪神社で行います。

皆様ご参加下さるよう祈念します。

8月の案内 担当 松本喜志男

### 『8月柏の集い行修会』

8月17日(土)・・・9時30分～12時 柏諏訪神社 参加費500円

戸外朝礼、室内行修・・・叡智のひびき 箴言二十五 担当 廣津信義

(担当者日程の都合上9月箴言と変更)

## 箴言二十五

真善美という事は人の心の何れかに該当するものかというに真と美は本心に固有するもので善とは良心の能動より発動する情緒である

### 1、《8月天風先生の言葉》

#### 「積極一貫」

どんな場合にも、すなわち、健康の時でも不健康の時でも、また幸運の際にも、不運の際にも、否、どんな苦難不如意の時であっても、その心は断固として積極的に、厳として把持しなければならないというのが、人間に与えられた宇宙真理であると同時に、また人として厳守すべき自然法則だ。



天風師がごく一部の門人に語った「死生観」を初書籍化

死を怖れる気持ちを、生を喜ぶ気持ちにふりかえる。死への恐れではなく、生きている現在のありがたさに感謝して生きる。私はインドの山の中での修行中にその悟りができた瞬間、雲の晴れたような気持ちになり死を怖れる気持ちが消えてしまった。 天風

### 2、《人に喜ばれる人になりなさい》

渡辺雅文

〈福島市渡辺経営コンサルタント所長〉

超一流といわれるような人は、心のレベルも超一流のようです。血のにじむようなたゆまぬ努力で三冠王を獲得し、世界のホームラン王になった元読売巨人軍の王貞治さん（現福岡ソフトバンクホークス球団会長）がいつも心掛けているのが、「人に喜ばれる人になりなさい」というお母様からの教えだということを知りました。

王さんが現役時代に、究極のバッティング技術を身につけるために真剣に努力を積み重

ねていた姿をテレビや雑誌などで知り、大変驚いていたことを思い出します。その後、野球の指導者として、弱小球団であった福岡ダイエーホークス（現福岡ソフトバンクホークス）を何度も日本一になるような常勝球団に育て上げたこと、さらに WBC で日本チーム（侍ジャパン）を世界一に導いた手腕やリーダーシップにも大いに関心を寄せていました。

また、その王さんが、現役時代も監督時代も、そして現在でも、インタビュアーの質問にいつも丁寧に、謙虚に受け答えするのを見て、超一流の人の言動とはこういうものかと尊敬をしておりました。しかし、それは「人に喜ばれる人になりなさい」というお母様の教えを頑（かたく）なに守り、実践してきた証なのだということを知り、あらゆる世界で超一流といわれる人は、技術だけが素晴らしいのではなく、常日頃の心構えも超一流のだと学びました。

私は今でも、伸びる人の第一条件は「人に好かれる人柄を身につけていること」だと思っています。どんなに知識や技術、またはスキルというものを身につけていても、周りから好かれ、応援したくなるような人柄や人間性（徳）を身につけていないと、その「道」で大成することはできないと考えているからです。

王さんの三冠王のタイトルや、日本及び世界のホームラン王としての輝かしい実績が大変素晴らしいものであることは誰もが認めることですが、それを支えたのは、お母様の教えであった「人に喜ばれる人になりなさい」という謙虚な姿勢とお人柄にあったのではないかと思います。

人に好かれ、人に喜ばれる人になることは、一流の人間になるための第一関門であると理解いたしました。

※追、渡辺雅文さんとは平成30年に「頼経健治さん、神渡良平さん（作家・元天風会員）」が主宰の武蔵嵐山志帥塾で一緒に交流を続けています。本文は渡辺さんが経営コンサルタントとして経営者の皆様に年4回発行されている季刊誌、「かけはし」7月号の巻頭言です。素晴らしい内容ですので紹介しました。

渡辺さんは経営コンサルタントを始められた頃、天風先生の著書を読まれ経営に活かされたとお聞きしています。今も天風会の著書を皆さんに紹介されています。本文掲載のご了承を頂き掲載しました。ご縁に感謝しています。（藤本益久）



福島磐梯吾妻スカイライン

### 3、「やれ！」と言える信念。

広岡達朗

巨人は12球団で唯一、「生え抜き」が監督を務めている伝統チーム。原監督を継いだのは、やはり生え抜きの阿部慎之助だった。いまの巨人をよくするためにはどうすればいいのか。

ちまたで桑田真澄や工藤公康が挙がっていたが、最終的に捕手だった阿部慎之助が監督になったのは予想通りだ。2023年、阿部は作戦兼ディフェンスチーフコーチからヘッド兼バッテリーコーチに昇格した。監督就任への布石だった。

阿部は時間が許すなら、原監督のそばにいたのをやめて、球団が「お前ちょっと世界を回ってこい」と言って巨人以外、世界の野球、世界の常識を勉強させてもよかったかもしれない。そして、それぞれの野球の長所の真似をできればよかった。

監督たる指導者は、球団が作ればよい。論功行賞的に生え抜きを監督にしているのはファンをだましているだけ。アメリカでは指導者がシングルA、ダブルA、トリプルAとマイナーリーグで段階を踏んで実力を蓄えて昇格していく。日本にはそういうシステムがないだけに、お金がかかっても作るべきだ。

選手時代にスーパースターでなくてもいい。「彼はいつか監督になる」という人間に、お前は世界一周して人を育てる何かを勉強してこい」「お前は制度を勉強してこい」と人によって課題を与えてやればいい。ビッグネームがいきなり監督になって「〇〇が監督なら勝っても負けてもいい」というのは反対だ。現役時代にスターでなくとも、ちゃんと責任を持ってプレーした選手が、今度は指導者として自分より技術が劣る選手に対して「これをやったらうまくなる。これを信じてやれ」と教えないといけな。やれと言える信念だ。

選手に「HOW TO SAY〈どう言うか〉」ではなく、「HOW TO DO(どうするか)」を教えられる指導者が欲しいのだ。例えば「オーバースローよりサイドスローの方がいいよ」と言うだけではなく、「そのために、こういう方法で技術を習得せよ」というDOを言える人がいるか。ただし、アドバイスを送るにしても、他の選手と平等にアドバイスをしなくてはならない。

いまの時代、監督でうまくいかずに評論家に転身して、立派なことを述べる人もいる。私は腹が立って仕方がない。自分がユニフォームを着ているうちに、なぜ言わないのか。一方のコーチも「監督に呼ばれてこの球団のコーチになったのだから、監督が退任したら一連托生で自分も辞める」というのが本来の姿だ。

監督もコーチも、自分の仕事に責任を持つのはあたり前のことだ。

(最後の名将論 広岡達朗 BS新書)

### 《8月川柳》

パスワードチャンス3回震える手  
意気地なし三日で戻る元のさや

(サラリーマン川柳・第7位)  
(ラジオ深夜便・お題戻る)

誘われた行くのはイヤだでもタダだ (女子会川柳)  
スクワットしゃがんだままで立てません (シルバー川柳10)  
長生きの秘訣は孫の“ジジ若い” (地域新聞・人生100年時代応募・益魚)  
(※初めての方・益魚は編集者藤本益久の雅号)

《俳句》加東市広報

満天の星を燦(いぶ)して大花火 (加東市・小中高、同窓生前田信夫)  
〈5月1日闘竜灘・花まつり大花火!〉・・・◎あっぱれ!!

【お勧めの本】・・・「本屋を守れ」 読書とは国力

藤原正彦

数学者・お茶の水女子大学名誉教授

まえがきより一部抜粋・・・駅前の本屋とは、人びとに文化の存在を知らせる、という点で町の文化の拠点だったのである。江戸中期に長崎・出島に医師として滞在したドイツ人医師ケンペルは、「日本人はみな字が読める」と書いている。江戸末期の識字率は九〇%ともいわれ、断トツの世界一である。江戸には八〇〇軒、京都には二〇〇軒の本屋があったという。読書こそがわが国の国柄であり、実は隠れた国力であったのだ・・・(中略)

- 目次・・・一、国語力なくして国力なし  
二、読解力急落、ただ一つの理由  
三、読書こそ国防である  
四、町の書店がなぜ大切か  
五、デジタル本は記憶に残らない  
六、本を読まない「日本の反面教師」トランプ  
七、日本は「異常な国」でよい・・・普通の国になってはいけない他  
八、国家を瓦解させる移民政策

国語力、読書力の重要性を様々な観点から説いた一冊です。2020年に発行されており読んだ方もおられると思います。読書の大切さを改めて感じました。

(PHP 新書 本屋を守れ 藤原正彦 990円税込み) 藤本







中村天風財団柏の集い連絡所 郵便番号277-0835 柏市松ケ崎 1077—17 藤本 益久方  
TEL, FAX 04-7133-2785 携帯：090-1117-0943 e/mail:spzb8ev9@diary.ocn.ne.jp  
〈ホームページ検索：天風会柏の集い・・・日程、案内文掲載

## 柏市の紹介

### 国立がん研究センター東病院



日本のがん治療の先端をいく国立がん研究センター東病院1992年開設  
敷地内に患者、家族をサポートする三井ガーデンホテルが2022年開業  
がん治療を支え全国からの患者家族を受け入れている。